学校に必要な備品を　日本航空㈱

２月１４日、日本航空㈱から、学校に必要な備品と交換していただきたいと、１４０点のベルマークが寄贈されました。
長沼小学校では、年に１度ベルマークの集計作業をしていて、昨年は集まったベルマークをかるたやオセロに交換しました。
谷渕ＰＴＡ会長は「ベルマークは切ったり洗ったりと地道な作業があるため、こんなにたくさん集めるのは大変だったと思います。子どもたちのために使わせていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

栗山警察署から感謝状を授与

近藤美涼さん 塚原康典さん

２月２０日、長沼郵便局の塚原康典さん（岩見沢市）と近藤美涼さん（９区）が特殊詐欺を未然に防いだとして、栗山警察署長から感謝状が贈られました。
来店客である高齢男性の送金事務を対応した２人は、送金理由や相手の振替口座を聞き、男性が詐欺の被害に遭いそうであることを見破り、警察に相談しました。
< 詐欺電話がきたら＃９１１０ >

北海道青年農業者会議でドリーム賞を受賞　柴田知浩さん

２月２４日、ながぬま４Ｈクラブの柴田知浩さん（２４区）が令和４年度北海道青年農業者会議で行われたアグリメッセージ部門において、ドリーム賞を受賞したことを齋藤町長に報告しました。
柴田さんは「家族と一緒に上手く仕事する方法～我が家の場合～」という題名で、父親がしてくれたように、自分も子どもができたら同じように丁寧に仕事を教えて、家族経営で頑張って農業を続けていきたいと発表されました。

農業の振興に役立てて　内田和幸さん

２月２４日、北海道産業貢献賞受賞を記念し、農業の振興に役立てていただきたいと、内田和幸さん（１７区）から５０万円のご寄附がありました。
齋藤町長は「北海道産業貢献賞受賞、誠におめでとうございます。いただいたご寄附は大切に使わせていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

スノーアートが今年も出現

２月２７日、旧長沼舞鶴小学校の校庭で、長沼小学校５年生と地域の農家、ＪＡＬスカイ札幌社員、千歳川河川事務所職員、タンチョウも住めるまちづくり検討協議会地域づくり専門部会が協力して、タンチョウのスノーアートを完成させました。
５年生の皆さんが考えてくれたデザインを、黒い融雪剤を使って広い雪原のキャンバスに描きました。

タンチョウミニバスツアーを開催

３月５日、タンチョウも住めるまちづくりの取り組みを知ってもらおうと、舞鶴遊水地や町内のスポットを巡るタンチョウミニバスツアーを開催しました。
長沼タンチョウ・ガイドの案内による舞鶴遊水地の見学や木エクラフト体験、馬追蒸溜所の見学を行いました。
参加者からは「町民だが新しい発見もあり、貴重な体験ができた。」とツアーは大盛況でした。

新入生の学校生活に役立てて　長沼更生保護女性会

３月６日、長沼更生保護女性会（中出ヒロ子会長）から長沼小学校新１年生（６６人）の学校生活に役立てていただきたいとクリアファイルが贈られました。
高羅校長は「学校と、子どもたちと保護者をつなぐおたよりファイルに使わせていただきます。」と話されました。

議会のうごき

第１回定例会

３月９～17日まで開催された令和５年第１回町議会定例会で、次の案件が審議されました。

■長沼町基金条例の一部を改正する条例制定について（原案可決）

令和４年12月21日に、戸川雅光氏（本町北２丁目）から、長沼町栄誉町民決定を記念し、本町の公立学校施設整備に役立てていただきたいとの趣旨から、１００万円のご寄附をいただいたことにより、本条例の一部を改正するものです。

■令和４年度長沼町一般会計補正予算（第８号）（原案可決）

除雪関係経費、地域経済循環創造事業費及び各事業の決算見込みなどによる補正で、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ６５１０万８千円を増額し、予算の総額を91億５７００万９千円とするものです。